

館山市に所在する学校との意見交換会 概要 (人口減少問題等について)

実施日：平成26年9月2日（火）

次 第

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 出席者紹介
4. 講演「館山市の人口動向と今後の方向性について」
5. 館山市の現状と取組等について
 - (1) 市内中学生生徒数の推移について
 - (2) 市内中学生の進路状況について
 - (3) 子育て支援事業等の取組状況について
 - (4) 高校生アンケートの実施について
6. 各学校の進路等の動向や傾向について
7. 意見交換
8. 閉会

【意見概要】

◆ 学校の現状

- ・生徒の確保に苦心している。
- ・生徒たちは、地元志向が強くなっている。就職について、以前は一度東京へ出て行ってから、戻ってくるパターンが多かったが、今は最初から地元を選択する。
- ・親は医療関係者が多いこともあり、医療関係を目指す生徒が増えている。
- ・親の職業に関係がなくても、地元就職のために、医療関係や介護関係を目指す生徒が増えている。
- ・少子化の影響からか、親も子もずっと一緒にいたいという傾向が強い。
- ・親の経済力が低下してきているように感じる。
- ・学力の差が大きくなってきている。安房の子は競争がないので、小さい頃から勉強時間が少ない。
- ・今の生徒は小さい頃から失敗経験が少なく、失敗を極度に恐れる傾向がある。
- ・学力よりも人間力の向上に対する指導を重視する傾向になってきた。

◆ まちづくりへの意見

- ・人口減少に従い、市役所も議会も人口規模にあった体制・取組にすべきだ。
- ・コンパクトシティ、まちを集約していく必要がある。
- ・各施策、特に観光やPR事業に関しては、インパクトが必要だと思う。